

2025年度 自己点検・自己評価結果表

幼保連携型認定こども園 朝日幼稚園

園長 山下 瑞音

今年度の自己評価の結果がまとまりましたので、ご報告いたします。自己評価の結果を踏まえ、今後の教育・保育の質の向上ならびにこども園運営の資質向上につとめてまいります。

実施日 令和7年10月22日

対象職員	人数
主幹保育教諭	2名
保育教諭	5名
事務	1名
計	8名

A：たいへんよい
B：よい
C：一部検討を要する
D：改善を要する
回答なし

【1】保育目標・計画・実践に関する評価

項目	内容	A	B	C	D	回答なし	意見・改善策
保育目標について	(1) 保育目標の具体化に向け、幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。		○				・ひとりひとりを大切にするという保育目標はとても意識している。 ・保護者の方の願いと子どもの発達に必要な部分との乖離もある。 ・子どもたちの日頃の様子をていねいに観察し、保育につなげていっている。
	(2) 目標は、施設や地域の特色を生かしているか。		○				
	(3) 目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。		○				
	(4) 目標は、前年度の反省を生かしているか。		○				
	(5) 目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。		○				
保育について	(1) 指導計画は幼児の実態に即して作成しているか。		○				・保育内容が発達に依拠していないこともある ・月案、週案の様式の練り直しが必要。
	(2) 幼稚園教育要領・保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか。		○				
	(3) 環境の構成を意識した保育や課程を常に工夫しているか。		○				
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。		○				
	(5) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。		○				
日時程	(1) 一日の流れ(デイリープログラム等)は現行でよいか。		○				
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。		○				・運動会の構成を前年度の反省や保護者の方のご意見を参考に大きく改善・変更した結果、今年度はとてもよい流れで実施できた。違う視点で変わっていくことも重要。 ・9月10月は行事やイベントが集中しており、プレゼント作りに追われて製作ばかりの日が続いたので、スケジュールの見直しが必要。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。		○				
	(3) 幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。		○				
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。		○				
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。		○				

【2】保育を支える学校運営に関する評価

項目	内容	A	B	C	D	回答なし	意見・改善策
分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。		○				・新任～中堅の先生方の受け身の体制がみられる、積極的な意見も必要 ・補助の先生が日によりどこに入っ てよいかとまどう日もある。 ・特に行事の時子どもの見守りが手薄に感じることがある。
	(2) 職務内容が明確で、協議できる体制になっているか。		○				
	(3) 職員の配置は適材・適所か。			○			
	(4) 係や仕事の分担・割り当ては適切か。		○				
運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。		○				・報連相ができていない。 ・楽器や音響など一部の先生が管理するのではなく、将来のために共有することが必要。
	(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。		○				
	(3) 打ち合わせ回数、時間、内容は適切か。			○			
年齢別・クラス運営	(1) 年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。		○				・職員の急な休みにも代替の職員の配置ができるため、安心。
	(2) 年齢別・クラス目標は、幼児の実態に即して設定しているか。		○				
	(3) 年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。		○				
	(4) 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。		○				
	(5) 意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか。		○				
	(6) 評価、資料(諸記録)を集積しているか。		○				
全指 保健	(1) 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。		○				・年間計画を参考に一年の流れを考え直しを行いながら行っている。

経営・組織	指導・安全	(2) 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。		○			<ul style="list-style-type: none"> ・1ヶ所百対心訓練が必妥。 ・毎月の避難訓練と安全教育で子どもたちの意識も高い。
	保健指導・安全	(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。		○			
		(4) 幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。		○			
研究・研修	園内研究・研修	(1) 研究主題は、園目標の具体化につながるものであるか。		○			<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアパスポートのための研修が多く、今必要な研修を受けているか不明。 ・毎年同じ研修(夏)に行くのではなく、違う研修に行くことも保育の幅を広げるために必要。
		(2) 園内研修の計画・運営は適切か。		○			
		(3) 研究の成果を日常の保育に生かし、幼児の育ちに反映させているか。	○				
		(4) 研究の実践による幼児理解が深まりを見せているか。		○			
	園外研究・研修	(1) 各種研究会、研修会、講習会への参加態度の充実を図っているか。	○				
(2) 各種研究会、研修会、講習会での内容を園内に還元しているか。			○				
情報について	(1) 幼児や保護者に関する個人情報をご適切に扱っているか。	○					
	(2) 公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。	○					
	(3) 各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理しているか。	○					
施設・設備	(1) 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。		○			<ul style="list-style-type: none"> ・園庭が畑のようになっており虫が多く、ブランコ使用時は安全面も気になる。園庭としての整備が必要。 	
	(2) 遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。		○				
	(3) 不審者等に対応する周到な配慮を行っているか。		○				
	(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。		○				
出納経理	(1) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	○					
開かれた園づくり	施設間交流・連携	(1) 他施設等との年間交流計画は、園目標や課題に添ったものになっているか。		○			<ul style="list-style-type: none"> ・花の日訪問、敬老訪問がよい機会になった。 ・街の中にあり、なかなか地域とのふれあい活動が難しい、またセキュリティ上の問題もあり、誰でも園に入れたり、どこへでも出かけるというわけにはいかず、綿密な計画が必要。
		(2) 他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で、幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。		○			
		(3) 指導者同士が、打ち合わせや事前研修・合同研修を行い、互いの保育・教育に対する理解を深め、援助について共通理解を図っているか。		○			
		(4) 参観や保育・授業などに参加するなどして、幼稚園・小学校の教育を理解しているか。	○				
		(5) 日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。				○	
	家庭・地域社会との連携	(1) 保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。		○			<ul style="list-style-type: none"> ・今年度はだるま祭りの絵画展示参加、白糸民生会の方との交流ができた。これまで地域との関わりが薄かったので、大切にしたい。 ・業務継続計画(BCP)の整備…災害時に東舞鶴教会の方々と連携し協力いただけるようにBCPを作成した。園児や園施設のことを良く知っていただいているので心強い。
		(2) 保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は、適切か。		○			
		(3) 幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。		○			
		(4) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。				○	
	子育て支援の推進	(1) 地域の子育てセンターとして、園庭や中庭、保育室等を開放しているか。		○			<ul style="list-style-type: none"> ・おひさまひろば、子育てほっとでの講演、ひまわりへの参加 ・おひさまひろばは企画を考え準備が大変であるが、先生の学びにもなっている。 ・おひさまひろばの毎週開催は場所の提供、担当職員の負担などが課題。
		(2) 地域に住む子ども同士、あるいは親子と一緒に遊ぶことができるような場の設定を行っているか。		○			
		(3) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。				○	
		(4) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。		○			
		(5) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。		○			
	情報の発信	(1) 園だより・クラスだより、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。	○				
(2) 行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。						○	
外価部評	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。					○	第三者評価は実施せず。(努力義務)
	(2) 地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。		○				
総評(園長)	<p>前年度は定年退職による主任教諭の交代があったが、一年を通して大きな混乱もなく継続して質の高い保育を提供することが出来た。また、保育の質も保育者が主導するものから、子どもたちの自主性を重んじるものに変化している。課題であった園庭解放による職員への負担も、外部講師を積極的に用いることにより、負担を減少することができた。</p> <p>一方で、職歴の浅い職員等に自主性のなさが散見される。今後は全職員が積極的に園の意思決定に関わる仕組みづくりを構築する必要がある。また、新卒者の育成を通して、当園の職員に対する教育力の向上を図りたいと考えている。</p>						